

中学校 英語

平成31年度(令和元年度)
全国学力・学習状況調査

調査問題の内容

学習指導要領に示されている各領域に基づき、概要や要点を英語で聞き取る問題や自分が考えたことや感じたことを、その理由を交えて英語で書くことのできるよう必要な情報を読み取る問題、文のつながりなどに注意して英語で書く問題、英語で問答したり意見を述べたりする問題などが出題されています。

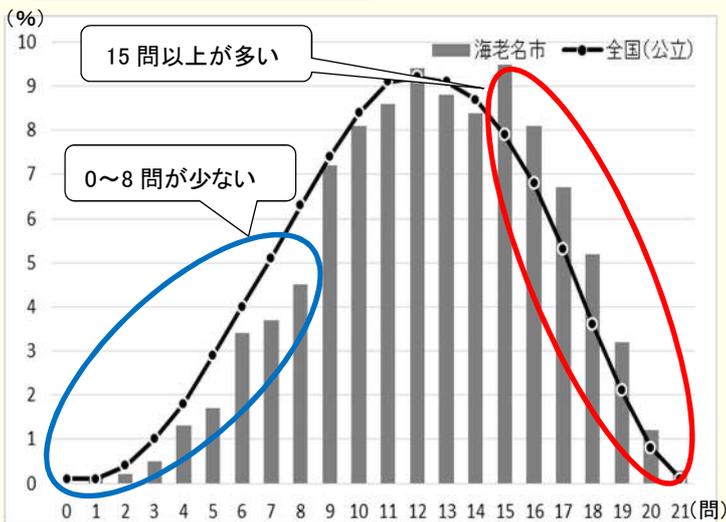
全体の結果

	海老名市	神奈川県(公立)	全国(公立)	全国との比較
平均正答率	59.6%	59.0%	56.0%	3.6
平均正答数	12.5問 /21問	12.3問/21問	11.8問 /21問	0.7

平均正答率…平均正答数を問題数で割った値の百分率。

正答数分布グラフ

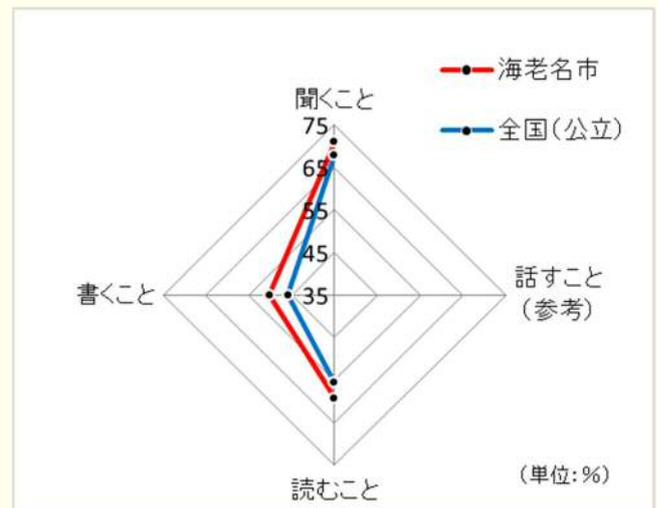
(横軸:正答数, 縦軸:割合)



- * 正答率50%以下(0~10問)の生徒の割合は30.7%です。【全国は37.5%】
- * 正答率80%以上(17~21問)の生徒の割合は16.6%です。【全国は11.9%】
- * 中央値は13問です。【全国は12問】

中央値…正答数を大きさの順に並べた時に真ん中に位置する値。

学習指導要領の領域等の平均正答率



全ての領域において、
全国と比較して上回っています。

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象問題数	平均正答率(%)			平均無解答率(%)		
			海老名市	全国(公立)	全国との比較	海老名市	全国(公立)	全国との比較
学習指導要領の領域等	聞くこと	7問	70.9	67.9	3.0	6.1	6.2	-0.1
	話すこと(参考)	5問						
	読むこと	6問	59.3	55.6	3.7	4.6	5.0	-0.4
	書くこと	8問	50.1	45.8	4.3	5.9	6.5	-0.6
問題形式	選択式	13問	75.3	71.4	3.9	0.3	0.3	0.0
	短答式	5問	49.5	45.2	4.3	7.6	8.6	-1.1
	記述式	3問	8.8	6.8	2.0	25.1	26.2	-1.0

海老名市の結果についての分析

- 平均正答率、平均正答数、中央値を見ると、全国と比べて正答率が高い生徒が多いです。
- 平均正答率が全国を上回った問題は、21問中19問です。また、平均正答率が80%以上の問題は、21問中4問(全国は3問)です。
- 問題形式を見ると、「記述式」の問題は全3問とも全国の平均正答率を上回っていますが、平均正答率は15%以下です。
- 無解答率が全国よりも高かった問題は21問中6問です。

全国の正答率と差が見られた問題の例

中学校英語のすべての問題は、国立教育政策研究所のホームページで見ることができます。

(2) 次の①、②について、例を参考にしながら、必要があれば()内の語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりなどして、それぞれ会話が成り立つように英語を完成させなさい。

(例) <放課後に図書室で>

A: Can you help me now?

B: Sorry. I (do) my homework now.

[答え] am doing

② <休み明けに教室で>

A: Was your vacation good?

B: Yes. My family and I went to Australia.
(stay) there for two weeks.

A: Wow! Wonderful.

9 (2) 与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりなどして、会話が成り立つように英文を書く。

趣旨 一般動詞の1人称複数過去時制の肯定文を正確に書くことができる

正答例 We stayed

◇この問題の正答率

海老名市 39.2%

全国(公立) 28.9%

(全国との比較 +10.3)

考察

- 「聞く」「読む」「書く」の技能を、日常的にバランスよく学習していることが結果に表れています。
- 「聞いた内容に対する自分の考えを記述する」「これまで学習してきた内容を活用して対話する」など、技能統合的な課題に取り組んでいくことが求められます。

指導の改善にむけて

◆様々な形式の英文を正しく書く

- 「I」「You」以外の主語や無生物が主語(This や It など)になる英文を書く機会を設け、様々な形式の英文を書く活動に取り組みます。
- 相手に正しく伝わる文章になっているかを、生徒同士の交流を通して、修正を加えながら正確さを高める活動に取り組みます。

◆技能統合的な課題に取り組む

- 「場面・状況をイメージしてから、聞く目的を持って聞く」「聞いてから、話し手が求めていることについて『話す』『書く』などして応じる」などいくつかの技能を活用して解決するような課題に取り組みます。